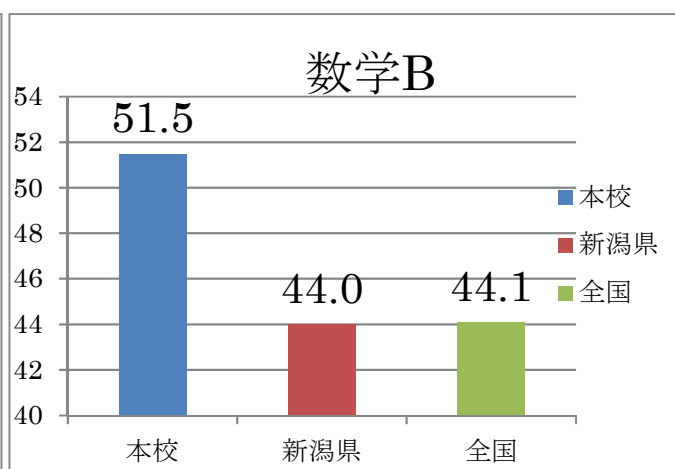
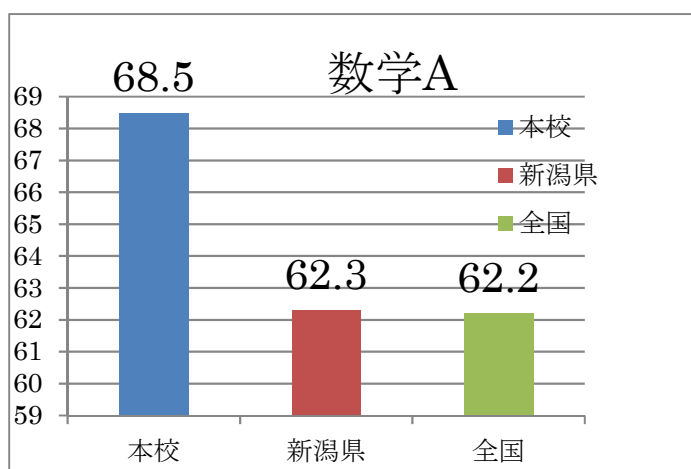
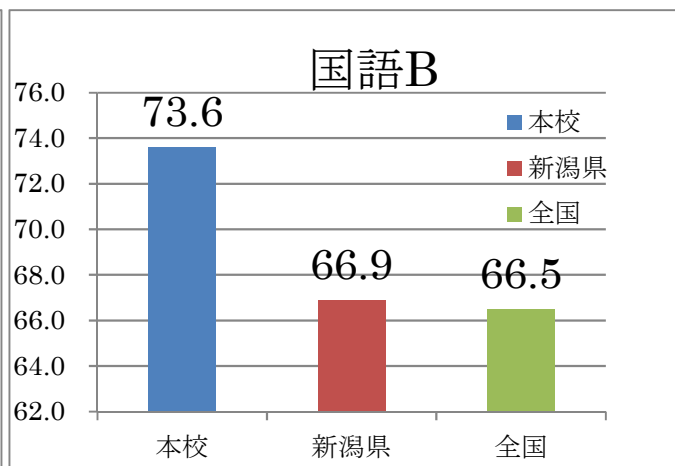
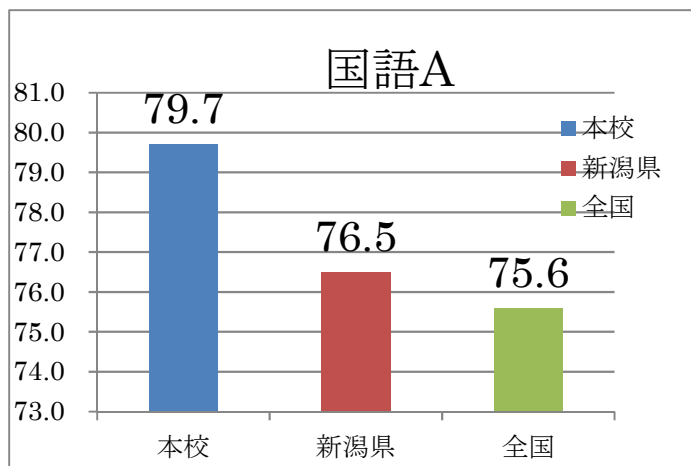


1 結果概要



2 指導改善のポイント

昨年度同様、すべての教科において県平均及び全国平均を上回り、学習内容が概ね定着していることが伺える。学習状況の結果から、本校の課題として以下の点があげられる。

国語：読書は好きであるが、「国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読む」ことを苦手とする生徒が多い。

数学：数学で学習した内容は、将来、社会に出たときに役に立つと感じている生徒が少なく、数学の授業の内容がきちんと理解できていない。

以上の課題を今後の授業等においてどのように改善し、来年度以降につなげていくのかを検討した。検討内容を、前期課程の授業において実践していきたい。

- [国語] ①「自分の考えを明確にして、構成を立ててから作文を書く」活動を継続して行う。その際、書いた文章を推敲させる。
- ②既習事項の復習を授業の中で設定する。
- ③文学作品や新書等に親しむ機会を設ける。その際、段落や話のまとまりごとに何が書かれているか意識して読むよう指導する。
- ④発達段階に応じた話し合い活動を取り入れ、他者を尊重しながら自分の意見を主張できるようにする。
- [数学] ①数学用語の意味や定義を自分で説明できるように指導する。
- ②学習内容が日常生活の中で活用できることを理解し、現実問題を数学的に解決する授業を取り入れる。
- ③ペアや班での教え合いや発表をとおして、言語活動を充実させる。
- ④小テストを定期的実施して、基本事項を定着させる。